

## 令和4年度第1回瑞穂町協働のまちづくり推進委員会

- 1 日 時 令和4年7月25日（月曜日）19時40分から20時23分まで
- 2 場 所 庁舎2階会議室2-1、2-2
- 3 出席者 （委員）  
中沢清（委員長）、石川かず子、高水弘侑、井上祐輔  
（事務局）  
吉岡大輔（協働推進部協働推進課長）、宇尾野良美（同課地域協働係主任）  
岡部龍斗（同課地域施設係主任）  
（欠席者）  
石川淳、小松揚明、田中幸男、豆田和子

- 4 配付資料 （1） 次第  
（2） 主な協働のあゆみ（概要）  
（3） 協働事業実施状況調査結果  
（4） 住民提案型事業について  
（5） 住民提案型事業の募集について（周知）  
（6） 「協働」ってなんだろう？Volume. 8

- 5 開 会 委員長より開会宣言  
（事務局地域協働係長）配付資料の確認

- 6 あいさつ 吉岡協働推進課長挨拶

- 7 議題 （1）事務局からの報告について  
（事務局協働推進課長）

資料1 主な協働のあゆみ（概要）について説明。平成23年以降の瑞穂町における協働のあゆみを時系列でまとめた。令和4年度協働のマッチング制度イメージ図を作成し、今後、この委員会を通じて、制度の協議及び検討等を行い、状況に合った形で更新していく。今まで各課で行っている協働事業をあまり把握できていなかった状況であったが、協働推進課ができたことにより、庁内の各課との間に入り、上手くマッチングできるよう支援をしていく。また、その制度作りも考えている。協働のマッチングパターンとして、住民提案型、行政提案型、庁内のマッチングの3つのパターンに分けた。

（事務局地域施設係主任）

資料2 協働事業実施状況調査結果について説明。令和4年3月に、各課に対して調査を依頼した結果となっている。調査内容の概要として、平成21年度に一度実施した調査を基に、今現在も行っているのかということを中心に、新規追加した事業があれば追加してもらう形で、洗い出した結果、180件が平成21年度から継続している事業数となった。

（事務局地域施設係主任）

資料3 住民提案型事業について及び住民提案型事業の募集について（周知）の説明。令和4年度1件の協働事業提案書の提出があり、防災の意識向上ということで、瑞穂中

学校のPTA会長浜崎さんから10月頃実施予定で、提案書の提出があった。資料4については、町内会連合会役員会で、通知文を出して周知を図った。

(事務局地域施設係主任)

資料5「協働」ってなんだろう? Volume. 8について説明

(中沢委員長)

協働推進課になったことで、窓口が一本化できたのは良い。調査結果で、協働事業の事業数が目に見えるようになってきていることが良い。既に協働だったということが、この調査を通じて、認識してもらえたのではないかな。

(事務局協働推進課長)

職員の中でも認識が足りていないところがあるので、この調査により見える化したことは良かった。

(高水委員)

資料2で明らかになった協働事業も、資料1で示したイメージ図の3つに振り分けるとなると、現段階では一般の方は、難しいのかなと思う。

(中沢委員長)

協働を推し進めるに当たって、時間の積み重ねが必要であって、丁寧に対応することが求められる。協働推進課ができたことで、その対応もスピードが上がってくるのかなと期待している。両者WIN-WINの関係でなければならない。やらされてる感が出てはいけない。

議題 (2) 事務局からの報告について

(高水委員)

夏休みを利用した体験ボランティアを実施。今年は、38のメニューを用意した。ボランティア団体と学生が、両者WIN-WINの関係であるということが、協働のルールにも当てはまってくる。調査結果の中にもある「おひさまキッチン」もボランティア登録団体で、町内の小学校全てで実施していきたいという展望がある。

(石川委員)

東部高齢者支援センターから高齢者の方が、うちのグループホームへ食事作りに来てくれている。これもちょっとした協働になるのかと思っている。

(中沢委員長)

昔からこの委員会では、社会福祉協議会やボランティアセンターとの関係がすごく重要であると話している中で、一つの例なのではないかな。

(井上委員)

ひまわり畑は、任せてもらい管理しているが、イベントとしてやるにはまだ難しい。産業経済課の職員と一緒に、種や肥料を撒いて、少しでも咲いてくれればいいかなとい

う形でやっている。

(中沢委員長)

そのような活動の場が残っていることが大事

(井上委員)

社会福祉協議会等に寄付したりしている緒方企画から賞味期限の近い野菜や食品が安く買える。様々な農家等に積極的に声かけ、瑞穂町の良い物を見つけることと、情報発信をしている。その売上の中から寄付をしたりしている。瑞穂町の方でも知られていないことが多いということで、情報発信をしている。

(中沢委員長)

平地林活動を継続して行っている。

議題 (3) 令和4年度委員会活動について

(事務局地域施設係主任)

令和4年度は、協働のまちづくり推進委員会を3回実施したい。新型コロナウイルスの感染状況にも注視しつつ開催していきたい。フォーラムについても大人数を集めることが難しいため、昨年度実施したようなパネル展を考えている。

議題 (4) その他

(事務局協働推進課長)

町の方の動きとして2点報告。武蔵村山市協働推進部協働推進課との情報交換を行ったこと。生命保険会社と町で協定を締結したこと。

(事務局地域施設係主任)

次回の委員会は、令和4年10月頃を予定

8 閉会 中沢委員長による閉会宣言